

記者発表資料

大学生を対象にした橋梁点検の現地学習会を開催

～ 未来の土木技術者が橋梁点検を体験 ～

高度経済成長期に集中的に整備された道路施設の老朽化対策が緊急の課題となっています。橋梁やトンネルなどの道路構造物を良好な状態に保全していくために「点検→診断→措置→記録」というメンテナンスサイクルを確実に実施することが重要となっています。

今回、「栃木県道路メンテナンス会議」では、足利工業大学のご協力のもと、将来の土木技術者を目指す学生の皆さんに、橋梁の点検を体験して頂くことにより、道路施設のメンテナンスサイクルの重要性を学習して頂くことを目的に現地学習会を開催します。

1. 開催日時：平成28年12月7日(水) 13:00～16:30 (小雨決行)
2. 開催場所：50号国道 ほりごめ 堀込高架橋 (栃木県足利市堀込町地先)
3. 参加者：足利工業大学 学生等 20名程度

報道機関の皆様へ

- ・取材される場合は、前日の12月6日(火) 17時までに下記の問い合わせ先にご連絡下さい。

発表記者クラブ

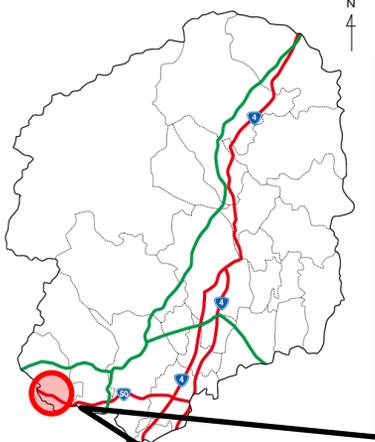
栃木県政記者クラブ、竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 宇都宮国道事務所 保全対策官 あみ とおる 阿見 徹
TEL 028-639-5256

～開催場所（50号国道 堀込高架橋）について～

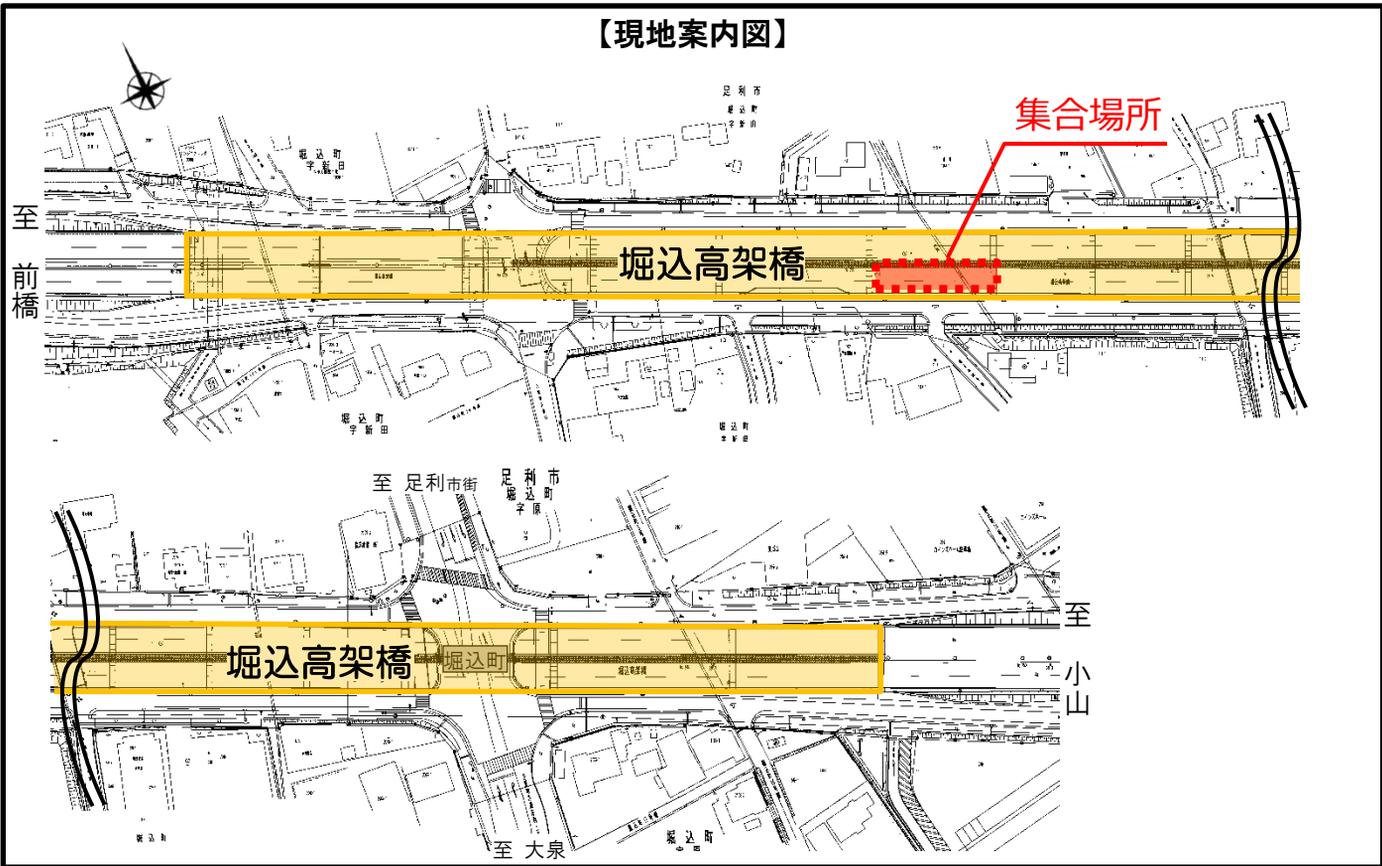
【広域図】



【位置図】



【現地案内図】



橋梁点検の現地学習会風景 (イメージ)



事前説明

現地点検
(下部工)



現地点検
(上部工)